



きれいなお寿司の華が咲きました（詳細はP 8）

やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

No. 46

2010 新年号

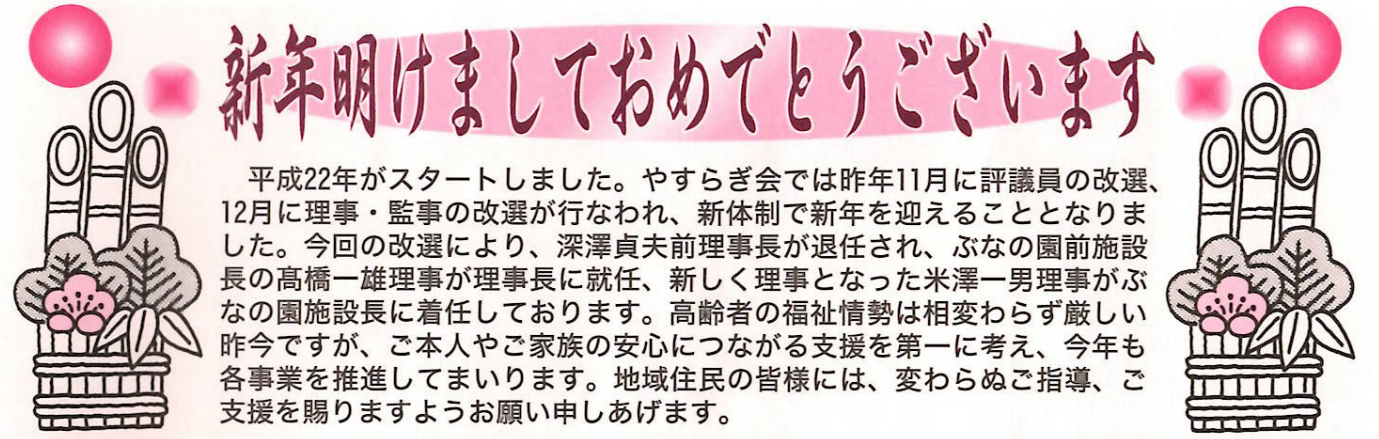
平成22年1月15日発行

主な内容

理事長、施設長就任のご挨拶	P 2
法人役員のご紹介	P 3
防災・救命への取り組み	P 4
栄養士のコーナー	P 5
情報発信！在宅サービス	P 7

やすらぎ会役員のご紹介 (五十音順・敬称略)

評議員	監事	理事	氏名	任期
渡和米南深羽照高高高高菅坂小小久加 辺泉澤川澤柴井橋橋橋橋原卷森林保藤 哲盛賢廣盛幸正松昭潤一厚良 哉隆男一見人満夫躬榮男巧子彦志子茂 (新) (新) (新) (新)	野田高 米真広高高高佐近 中中橋 澤壁瀬橋橋橋藤 孝正義 一信 卓一 英 昭彦雄 男男勉勝也雄武三 (新) (新) (新)	川泉分 泉上貝太前蛭新猿 舟沢沢 沢野野沢田郷山町橋 平成21年12月3日 平成23年12月2日	新猿 蛭山 前郷 太田 貝野 泉沢 分沢 泉沢 分沢 泉沢 泉沢 泉沢 平成21年12月3日 平成23年12月2日	新猿 蛭山 前郷 太田 貝野 泉沢 分沢 泉沢 分沢 泉沢 泉沢 泉沢 平成21年12月3日 平成23年12月2日



新年明けましておめでとうございます

平成22年がスタートしました。やすらぎ会では昨年11月に評議員の改選、12月に理事・監事の改選が行なわれ、新体制で新年を迎えることとなりました。今回の改選により、深澤貞夫前理事長が退任され、ぶなの園前施設長の高橋一雄理事が理事長に就任、新しく理事となった米澤一男理事がぶなの園施設長に着任しております。高齢者の福祉情勢は相変わらず厳しい昨今ですが、ご本人やご家族の安心につながる支援を第一に考え、今年も各事業を推進してまいります。地域住民の皆様には、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。施設を開設して12年目の新春を迎えました。町民の施設として、ようやく、この地に、着実に、根を下ろすに至っております。皆さまのご支援の賜物であると感謝を申しあげます。介護に対する町民の、社会の期待は増大の一途の反面、介護保険業界は極めて厳しい財政状況にあります。しかし、町民の願いと期待、信頼に応えるべく職員はプロ意識をもって職務に精励して参ります。利用者の方の安全と併せのために役員一体となって経営の万全を期して参ります。町民の皆さまのこれまで以上のご助言、ご指導をよろしくお願い申し上げます。懐かしい風景のなかで、心の絆に結ばれて人々が生きています。絶景だけでなく、この地に住む人々の日々のくらしや思いの深さ、長い人生を振り返ると、そこにはやはり家族や地域との絆が絡み合っています。

親や家族と決別しようと思つた時期もあつたかもしれせん。父も母も他界した今、親との絆はどうだつたのかと、反省も...。家族には、いろいろな形があつていいと思つて、家が家族が、どんどん崩壊してしまつて、今、何が伴せてあるか、人間はやはり相手を認めたり、赦したりすることが大事です。受け入れることで、自分もまた赦されるのだと思つて、父母、兄弟姉妹、祖父祖母の元気でくらししている施設を訪れて欲しい、みんな待つております。この度の役員改選に伴い施設長を退任し、理事長に互選されました。非力を顧みず就任いたしました。関係する皆さまのご指導を賜りながら健全な施設経営、そして福祉の向上のため努力して参ります。皆さまのこの一年が笑顔の多い年であることを祈念し年頭のご挨拶いたします。

社会福祉法人 やすらぎ会
理事長 高橋一雄

新年も良い年になりますように ぶなの園住民忘年会

平成21年を締めくくるぶなの園住民の忘年会が、12月16日に盛大に開催されました。目玉は佐々木孝道さん(下巾)と小笠原一夫さん(湯本)のユニット「さくら組」による、長編歌謡浪曲の唄と演舞、そして泉沢婦人会の皆さんによるバラエティに富んだ踊りのステージ。本格的な衣装やメイクで会場を魅了したり、まるでかくし芸大会のような踊りで笑いを誘ったり、とにかく見どころ盛り沢山の内容でした。出演して下さった方々に元気をもらい、来年も良い一年になるよう祈りながら幕を閉じた忘年会でした。



第一小・猿橋小より もち米を寄贈していただきました

12月9日に沢内第一小学校、12月22日に猿橋小学校から、もち米を寄贈していただきました。いずれも児童の皆さんが精魂込めて育て、収穫したもので、児童からぶなの園住民の代表に手渡された袋の重みは、実際の重さよりずっと重く感じたに違いありません。猿橋小学校からは5、6年生の皆さんが来園し、歌の披露と住民一人ひとりへの折紙のプレゼントもありました。いただいたもち米はおいしく食べやすく調理してもらい、児童の皆さんの笑顔思い浮かべながら味わいたいと思います。



あけましておめでとうございます。昨年12月3日をもって、前施設長高橋一雄氏の後任として施設長に任命されるとともに、社会福祉法人やすらぎ会理事に選任され就任いたしました。もとより微力ではありますが、皆様のご支援ご指導を賜りながら、社会福祉の発展と介護保険事業の充実に一層努力をし重責を果たす所存でございます。今、福祉サービスの現場に立つて思うことは、「生命の尊厳尊重こそ政治の基本」という生命尊重の理念は社会福祉にこそ息づくべきなのに今ひとつ活力に欠け、「人命に格差があつてはならない」という言葉も無力に聞こえます。例えば介護保険サービスで個人負担1割とはいえ、サービスの質量が増大すれば負担額も増えます。経済的な理由で必要とするサービスが受けられないとすれば、まさに人命格差そのものです。介護保険制度の見直しが続けられるたびに、政治の基本である生命尊重の公的責任が薄められてきたように思われてなりません。

ご苦労の多かった時代を支えたお年寄りたちに、少しでも優しい施策を願いつつ、私もは在宅、施設を問わず、安心安全・快適で安らぎの中に人生を全うできるよう、サービスの質的向上に努めて参ります。また、法人の自主自立に向けた新たな視点での経営管理が求められる今日、中・長期計画の策定とともに安定した財政基盤の確立にも努力して参りたいと思つております。

今年もやすらぎ会に対する皆様のご支援、ご指導をお願いして新年のご挨拶いたします。

特別養護老人ホーム ぶなの園
施設長 米澤一男

たんば栄養士の

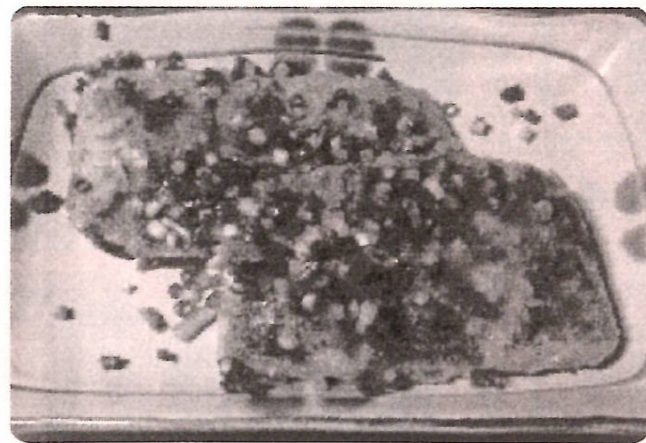
団塊の親父たちよ包丁を握れ! ②

思いのほか反響をいただき、誠にありがとうございます。栄養士の丹波です。

前月号をお読みいただいた、奥様よりご質問をいただきました。『ウチの父ちゃんは料理も何もしないので何とかならないか?』といった内容です。

「何もしないで」と父ちゃんに嫁言(よめごと)をしている奥様は多いのではないのでしょうか。父ちゃんを台所へ向かわせるには、母ちゃんの愛情が必要です。その、嫁言を「一緒にままするべ?」に変えてみませんか?夫婦で台所へ立つなんて微笑ましいですね。

父ちゃんが、ご飯支度ができるようになったら、自由に旅行も行けますよ(^.^)やはり、男の料理はいいとこづくしですね!



■写真分量のエネルギー: 約250kcal (1人分)
■相性のよいアルコール: ビール、麦焼酎

ちょっと変わった大根料理 点心 大根もち (2人分)



- 材料
- 大根 1/3本
 - 小麦粉 100g
 - 片栗粉 15g
 - ハム 2枚
 - 桜海老 少量
 - スリムネギ
 - 中華スープ 適量
 - ごま油
 - 付けだれ お好みで

- 作り方
- ①大根は細かく刻む(卸してもいいです)
 - ②大根の中に、粉カットしたハムや桜海老、スープを入れて粉っぽさがなくなるまで混ぜ合わせる。
(おこのみ焼きみたいな感じです)
 - ③ごま油を引いたフライパンやホットプレートで焦げ目がつくまで両面を焼いてください。
 - ④タレはお好みで、餃子のタレやポン酢、からし醤油でお召し上がりください。

※上新粉を使用するとモチモチします。白玉粉でも代用できます。
※粉の分量はお好みでOKですし、冷蔵庫に眠っている具は何でも入れてみてOKです。

大根で変わった料理はないですか?とのリクエストにお答えしました。中国のお茶うけの料理です。粉の分量は適当でも美味しく出来ます。ポイントは中華スープとごま油を使用する点です。

リクエストがありましたら、ドシドシ丹波までお願いします。



万が一への備えが肝心



防災救命への取り組み

10/16 地元消防団との連携確認

万が一の災害発生を想定した時に、地元太田の消防団は大変大きな存在になります。お忙しい中、部長はじめ数名の団員の方に施設内の消防設備を確認していただき、いざという時の協力をお願いしました。被害を最小限にするために最も重要なことは、迅速で的確な初期対応です。そのためにも、地元消防団の皆さんにあらかじめ施設の構造や設備を確認していただくことは、非常に有効な取り組みと言えます。



10/5 通報訓練・避難訓練

消防署への通報を含めた避難訓練は年に数回実施しており、10月5日は日中にボイラー室から出火した設定で、在宅サービスマン利用者が一緒に安全な場所に避難する訓練を行いました。回を重ねるごとに避難に要した時間は短縮されていますが、同時に緊張感が薄らいでくるといふ逆効果も生じる可能性があります。利用者の皆さんの命を預かっているという意識を常に持つて、今後も災害に備えてまいります。



11/19

救急救命講習会開催

突然目の前で人が倒れた時、私たちにできることは何か。普段そのようなことを考える機会はありませんが、心臓蘇生法を身につけておくことで助けられる命があることを、私たちは覚えておかなければいけません。

11月19日、西和賀消防署員2名を講師に、ぶなの園で心臓蘇生の講習会を開催しました。内容は主にダミー(人形)を使用しての実技。15名ほどの職員が、救命救急士の指導を受けながら、心臓マッサージやAEDの操作法を学びました。

心肺蘇生は時間が勝負、1秒でも早い判断と行動が「いのち」を助けるのです。実際にマッサージをしたり、AEDの機械に触れておくことは、その意味でも重要なことです。

ぶなの園にはAEDが1台設置されています。実際に使用するものがなければよいですが、万が一への備えは常に心がけたいものです。





やすらぎ文化祭

10月31日~11月1日

今年度の文化祭も作品展示とワークショップ、喫茶コーナーで賑やかに開催されました。ワークショップは①特大書道、②ヒップほつぷダンス、③写真館、④おやつ作り、⑤ハンドマッサー、⑥手作りおもちゃ、の全6種を10月31日の午前と午後に分けて開催。その道の達人の方やサーク

ルで活動している学生等を講師にお願いし、「楽しむ」ことを大前提にそれぞれの時間を過ごしました。また、喫茶ではシェーカーを振って飲物を作る体験もでき、子どもたちに大人気。勿論、地域の方とぶなの園住民との笑顔のふれあいもあちこちで交わされておりました。



和賀川

15

かたくりの園 所長 佐々木 篤

最近の話題と言えば、新政府による事業仕分けでしょうか。総理が来年度の予算概算要求に対して外部からの目で、しかも公開の場で不要や地方に移管などを選別し少しでも削減しようとしている。これまで様々な事業・制度として国民が関わってきた事がほとんど削減されていくようで少し残念に思えるほどだった。中でも、福祉関係者には福祉医療機構にある基金が返納される事が気がかり。それは、私たちの退職金に関わる場所なので特に気になる所だ。その他にも、子ども手当の取扱いやガソリン税など私たちの暮らしに直接響いてくるだけに気が気ではない。評論家の中には、将来への投資が削減されることに疑問を訴える人もいるが、子供たちに自分たちのつけを先送りしてしまうことの方が問題だと思ふ。こんな時だからこそ、未来への投資、将来を予測しての行動が、必要なのではないだろうか。

情報発信！在宅サービス

歌と踊りと特製弁当

かたくりの園の利用者忘年会は、1年間元気で利用していただいた感謝の気持ちを込めて、楽しい一時を過ごしていただけるようにと、毎年12月に各地区で活動をしている婦人会の皆さんや、様々な所で活動をしているボランティアの方々に歌や踊りを披露していただいています。

今年の忘年会は12月8日から10日の3日間、5組のボランティアの皆さんに歌や踊りを披露していただきました。利用者の中には涙を流しながら手を叩いて感激している方や、若い時に踊っていたこともあり、歌を口ずさみながら手を動かしている方もおりました。

踊りを見終わったある利用者の方は、「踊りも上手だったし衣装もきれいだっつた。沢内にも沢山踊る人がいることがわかった。家にばかりいると踊りも見ることがないので、今日は来て本当に良かった。」と話してくださいました。昼食の特製弁当には、利用者の



感激で拍手が鳴り止みませんでした

デイサービスセンター=かたくりの園

あしあと

法人の主な動き

- 【9月】
 - 1日 課長会議
 - 7日 特養結核検診
 - 8日 出張理容
 - 14日 法人第三者委員会 出張理容
 - 16日 特養住民の健康を祝う集い
 - 17日 役員管理職研修
 - 24日 介護事故防止対策委員会
 - 25日 彼岸法要
- 【10月】
 - 1日 課長会議
 - 2日 映画「いのちの山河」鑑賞
 - 5日 総合防災訓練
- 【11月】
 - 1日 やすらぎ会文化祭
 - 5日 課長会議
 - 6日 町長選不在者投票
 - 13日 県実地指導監査
 - 16日 理事会
 - 19日 救急救命講習会
 - 20日 ホーム喫茶
 - 25日 寿司バイキング 評議員会
- 入所検討委員会
 - 6日 出張理容
 - 8日 介護事故防止対策委員会
 - 15日 西和賀高校清掃ボランティア
 - 19日 衣料品出張販売
 - 24日 西和賀農業まつり参加
 - 26日 特養焼きいも会
- 第一小総合学習
 - 28日 夜勤職員健康診断
 - 31日 やすらぎ会文化祭
- 法人内部監査

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広 報 委 員 会

平成21年9月～11月

【ご寄付】

・岩手県理容生活衛生同業組合

北上支部 沢内地区様

【ご寄贈】

・大島商店様

・西和賀町商工会女性部様

・菊池ナミ様

【ボランティア等】

・どれみの会様

・泉沢婦人会様

・太田婦人会様

・高野ナヲ様

・高元睦子様

・佐々木エリ子様

・西和賀高校生徒の皆様

・おはなしきらきら様

・あいおい損保の皆様

・高橋昭士様

・高橋和子様

・深澤ノリ様

・北村まち子様

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

表紙の写真

ぶなの園住民にとって毎年の楽しみの一つとなった寿司バイキング。11月25日に来園した給食業者の職人さんは、寿司を握りながら住民に年齢を聞かれ、実際よりかなり年配に見られたことにショックを隠しきれず…。でも、精神的動揺は味には影響しなかったようで、色鮮やかなおいしいお寿司をおなかいっぱいいただきました。



編集後記

アジアのビール消費量が、欧州を抜いて世界最大になったそうです。大きく影響を及ぼしたのが中国や韓国の消費量の増加。特に中国は今、経済的な成長がものすごい勢いで進んでおり、ビール消費量もそれに比例しているのです。日本のお父さんたちも、家計の経済成長を遂げてビール消費量を増やしたいところでしょうが、なかなか…。新ジャンルに切替えて、飲む量は何とかキープといった感じでしょうか。前号に続きビールの話題で締めました。

W・T